

広島大学

住所	〒739-8511	広島県東広島市鏡山一丁目3番2号
問い合わせ先	入学センター	TEL 0824246174

学群・学類・学部		課程・学科						専修・専攻・コース・分野
教育（第一類）		学校教育系						初等教育教員養成
区分	定員	配点		個別学力検査				特記事項
		センター	個別	実技	面接	小論	筆記	
前期	102	900	800	—	—	—	800※	
後期	18	900	300	—	—	300	—	

※(1)「国語・数学」(2)「国語・外国語」(3)「数学・外国語」の三つの組み合わせから、出願時に一つ選択。

学群・学類・学部		課程・学科						専修・専攻・コース・分野
教育（第四類）		生涯活動教育系						健康スポーツ系
区分	定員	配点		個別学力検査				特記事項
		センター	個別	実技	面接	小論	筆記	
前期	16	700	400	400	—	—	—	
後期	4	700	700	700	—	—	—	

過去に実施された内容をもとに作成しておりますが、必ず大学発表の受験要項をご確認ください。

前期日程（健康スポーツ系コース） ※平成30年度入試要項 抜粋

文部科学省新体力テスト（12歳～19歳対象）に基づく基礎運動能力試験を実施します。

試験で実施する内容（項目）は当日発表します。

（注意）

- 1 実技検査に適する服装等（シューズは屋内用と屋外用、防寒具）を各自で用意してください。
- 2 陸上競技やサッカー用のスパイクシューズは認めません。
- 3 自分の荷物は常時携帯し、紛失しないようにするためにバッグ等を用意してください。
- 4 雨天の場合には、体育館で実施します。
- 5 万一の病気、けが等に備えて健康保険証を持参してください。

後期日程（健康スポーツ系コース） ※平成30年度入試要項 抜粋

次のうちから1種目のみ選択して受験してください。

陸上競技、バスケットボール、サッカー、柔道、剣道

※ 選択する種目について、高等学校在学中に競技実績がある場合は、最も評価できるものについて、三つまで、その大会名（大会のレベルは問いません）を実技実績調査に入力し、それを証明する資料の提出を併せて求めます。

なお、実技実績調査及びそれを証明する資料については参考資料として取扱い、評価の対象としません。

新体カテスト内容 文部科学省HPより抜粋

握力	<p>(1) 握力計の指針が外側になるように持ち、図のように握る。この場合、人差し指の第2関節が、ほぼ直角になるように握りの幅を調節する。</p> <p>(2) 直立の姿勢で両足を左右に自然に開き腕を自然に下げ、握力計を身体や衣服に触れないようにして力いっぱい握りしめる。この際、握力計を振り回さないようにする。</p>
上体起こし	<p>(1) マット上で仰臥姿勢をとり、両手を軽く握り、両腕を胸の前で組む。両膝の角度を90°に保つ。</p> <p>(2) 補助者は、被測定者の両膝をおさえ、固定する。</p> <p>(3) 「始め」の合図で、仰臥姿勢から、両肘と両大腿部がつくまで上体を起こす。</p>
長座体前屈	<p>(1) 初期姿勢：被測定者は、両脚を両箱の間に入れ、長座姿勢をとる。壁に背・尻をぴったりとつける。ただし、足首の角度は固定しない。肩幅の広さで両手のひらを下にして、手のひらの中央付近が、厚紙の手前端にかかるように置き、胸を張って、両肘を伸ばしたまま両手で箱を手前に十分引きつけ、背筋を伸ばす。</p> <p>(2) 初期姿勢時のスケールの位置：初期姿勢をとったときの箱の手前右または左の角に零点を合わせる。</p> <p>(3) 前屈動作：被測定者は、両手を厚紙から離さずにゆっくりと前屈して、箱全体を真っ直ぐ前方にできるだけ遠くまで滑らせる。このとき、膝が曲がらないように注意する。最大に前屈した後に厚紙から手を離す。</p>
反復横とび	中央ラインをまたいで立ち、「始め」の合図で右側のラインを越すか、または踏むまでサイドステップし（ジャンプしてはいけない）、次に中央ラインにもどり、さらに左側のラインを越すかまたは触れるまでサイドステップする。
持久走	スタートの合図は、「位置について」、「用意」の後、音または声を発すると同時に旗を上から下に振り下ろすことによる。
20mシャトルラン	<p>(1) プレーヤーによりCD（テープ）再生を開始する。</p> <p>(2) 一定の間隔で1音ずつ電子音が鳴る。電子音が次に鳴るまでに20m先の線に達し、足が線を越えるか、触れたら、その場で向きを変える。この動作を繰り返す。電子音の前に線に達してしまった場合は、向きを変え、電子音を待ち、電子音が鳴った後に走り始める。</p> <p>(3) CD（テープ）によって設定された電子音の間隔は、初めはゆっくりであるが約1分ごとに電子音の間隔は短くなる。すなわち、走速度は約1分ごとに増加していくので、できる限り電子音の間隔についていくようにする。</p> <p>(4) CD（テープ）によって設定された速度を維持できなくなり走るのをやめたとき、または、2回続けてどちらかの足で線に触れることができなくなったときにテストを終了する。なお、電子音からの遅れが1回の場合、次の電子音に間に合い、遅れを解消できれば、テストを継続することができる。</p>
50m走	<p>(1) スタートは、クラウチングスタートの要領で行う。</p> <p>(2) スタートの合図は、「位置について」、「用意」の後、音または声を発すると同時に旗を下から上へ振り上げることによる。</p>
立ち幅とび	<p>(1) 両足を軽く開いて、つま先が踏み切り線の前端にそろうように立つ。</p> <p>(2) 両足で同時に踏み切って前方へとぶ。</p>
ハンドボール投げ	<p>(1) 投球は地面に描かれた円内から行う。</p> <p>(2) 投球中または投球後、円を踏んだり、越したりして円外に出てはならない。</p> <p>(3) 投げ終わったときは、静止してから、円外に出る。</p>

詳しい内容については体育進学センターまで、お問合せください。

代々木校 TEL.03-5351-6301 横浜校 TEL045-316-6055 大阪校 TEL06-6572-5521 問合せアドレス info@e-tsishin.com